

ひまわり

宮崎社会保険病院
病院長 石川 正

宮崎市大坪西1-2-1
TEL.0985(51)7575
FAX.0985(53)8821

迎春

新年明けまして
おめでとうございます。



昨年中はたいへんお世話になりました。ありがとうございます。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

昨年4月に連携室を開設し、9ヵ月が経ちました。対応が不十分でいろいろとご迷惑をおかけしたことを思います。本年も地域の医療機関、福祉施設等関係機関との連携を推進していきたいと思っておりますので、ご支援ご協力をどうぞよろしくお願ひ致します。

また、毎月、開催しています「宮崎社会保険病院症例検討会」を本年より地域との医療連携をより強化する目的で「江南医療連携の会」と名称変更し、開催いたします。

ご参加よろしくお願ひいたします。

平成十七年一月吉日



内科・循環器科



(高木信雄、福留慶一、平山直輝、松尾剛志、窪山美穂、深江裕子、渡邊玲子)

内科は、宮崎市南部の基幹病院のひとつとして、内科全般の診療を行っております。特に、腎臓・消化器・循環器疾患に関しては、それぞれの専門医を擁し、他院からの信頼も厚いものがあります。また、診療内容は病院での高度医療から在宅での訪問診療(往診)まで、幅広く医療を提供できる体制を整えております。もし、治療が必要となった場合、治療方針は患者様および御家族の希望を十分に組み入れながら決定させていただきます。

腎臓疾患

当院は、県内に4つしかない日本透析医学会認定施設または教育関連施設の1つであります(2004年7月現在：教育関連施設)。腎臓内科医3名を擁し、人工透析を中心に各種腎臓疾患に対応しております。また、宮崎大学医学部第一内科より非常勤医4名が各々週1回、

透析患者の診察に来られ、連携をとりながら治療を行っております。透析台数は31台で、月水金は夜間透析も行っており、最大収容患者数は93名であります。内科疾患のみならず、整形外科・形成外科・外科疾患を合併した透析患者も多数ご紹介いただいております。血液透析以外に腹膜透析患者の導入や対応、腎炎・ネフローゼ症候群への腎生検や治療なども行っております。

消化器疾患

食道、胃、小腸、大腸からなる消化管や肝臓、胆嚢、膵臓の病気を診察する分野です。胸やけ、腹痛、吐き気、吐血、下痢、血便などの症状を訴える患者様に対応しております。

(1)消化器領域の癌の早期発見、早期治療

症状のない患者様に対しても電子内視鏡、超音波内視鏡、精密消化管X線造影、腹部超音波検査、

腹部CTなどを用い、食道癌、胃癌、大腸癌などの早期発見、内視鏡治療を行っています。

(2)炎症性腸疾患の診断治療

特殊な診断治療が必要な潰瘍性大腸炎、クローン病の診療経験数は豊富です。

(3)あらゆる消化器疾患の診断治療に対応

消化管出血、胃十二指腸潰瘍、食道静脈瘤治療、肝炎肝癌治療や膵臓癌など様々な消化管疾患の診断治療に対応しています。

循環器疾患

当院は日本循環器学会認定の循環器専門医研修施設であり、循環器内科医4名(循環器専門医3名)の体制で迅速な対応、質の高い医療をモットーに地域に根ざした医療を行っています。心臓カテーテル検査や心筋シンチグラム、心臓超音波検査、ホルター心電図検査などの最新の検査機器を備えており、狭心症、心筋梗塞、不整脈、心臓弁膜症などの代表的な循環器疾患の検査や治療はもちろんですが、高血圧、高脂血症、糖尿病を中心とした生活習慣病の診断、治療にも力を入れています。急性心筋梗塞や重症心不全などの疾患は適切な初期治療を行わなければ救命できないこともありますので、24時間体制で夜間、早朝を問わず治療を行っています。

その他

日本内科学会認定内科医および内科専門医が、その他の疾患についても、最適の医療を施します。場合によっては、大学その他の専門施設と連携を取りながら、最善の治療を行います。

< 診療実績 >

| 2003年4月～2004年3月 | |
|-----------------|-----|
| シャント手術 | 52例 |
| 血液透析導入 | 36例 |
| 腹膜透析導入 | 1例 |
| 腎生検 | 8例 |

| 2003年6月～2004年5月 | |
|--------------------------------|------|
| 上部消化管内視鏡検査 | 718例 |
| 大腸内視鏡検査 | 278例 |
| 上部消化管内視鏡処置 (止血・EMR・EVL・APC) | 41例 |
| 下部消化管内視鏡処置 (ポリープ切除・止血) | 120例 |

| 2003年1月～2003年12月 | |
|--|------|
| 心臓カテーテル検査 (合併症 0%) | 95例 |
| 経皮的冠動脈インターベンション 待機的:11例 緊急:5例 初期成功率 94% 合併症:死亡0%、緊急手術0%、心筋梗塞6.3% | 16例 |
| 心臓超音波検査 | 544例 |
| 心臓核医学検査 | 47例 |
| 永久的ペースメーカー植込み術 | 12例 |

地域医療を 支える

まえのクリニック

〒880-0936
宮崎市天満1丁目1-7
TEL 0985-64-2789
FAX 0985-64-2790



院長 前野正和

2001年より、宮崎市天満の(旧)福永外科の後に開院して、早3年になります。それまでは、開業という2文字も考えたこともありませんでした。自分を取り巻く状況の変化に、自分自身ついて行けてない状態かもしれません。それまで地域医療と無縁な大学病院勤務から、全く異なる現在の診療体系への転換は、自分が鹿児島生まれの鹿児島育ちでありながら、この身をこの地に埋める事とした決断でもありました。このため、「天満や周辺地域の患者さんとは、自分を育んだ鹿児島の親類縁者と同じ様な付き合い方でいこう」を原点に現在の診療を行っています。

私は昭和37年生まれ、今年で43歳です。見てくればもっと老けているかも知れませんが、まだ気だけは若いつもりです。夏の天満宮の祭りでは神輿をかつぎ、近隣の先生達とサッカー(フットサル)に興じるなど、持久力は無い方ですが、極限まで体を酷使しています。そういう点では、肉体的には現在の方が健康的のように思います。ただ、院長、経営者、事務長、という立場と近隣の患者さんからの期待を考えると、精神的には勤務医時代の方が健康的だったように思います。

今のところ、高齢化社会、介護保険導入、混合診療一部開始、診療報酬引き下げ、などへの対応策に悩まされつつあります。何よりも地域住民の高齢化と核家族化に伴い、診療所に対するニーズも昔と変化してきていることは確かです。以前のように病気を診るだけでは、現状は二進も三進も行かない事が数多くあり、在宅医療で行える範囲には限度があります。ましてや、うちのような職員4名の小診療所では、高齢の在宅老人(特に一人暮らし)に対して、特に無力を感じます。今後は、まず訪問看護ステーション、介護支援サービスセンターとの連携、次に医療機関同士の連携を円滑かつ有効に利用させて頂くことが、零細診療所の生きる手段であり、住民の皆様への根っこの部分でのサービスとなると考えています。

今回この地域医療関連室がますます充実していくこと、そこに参加し、利用させて頂いていることは、今後、自分にも、現在かかりつけをさせて頂いている当方の患者さんにも心強い味方となって行くことと思います。引き続き診療連携等よろしくお願いいたします。

症例検討会(江南医療連携の会)へどうぞ

実施状況

○11月(11/16実施)

- ・2004年前期における肺疾患例について
- ・冠動脈形成術におけるニューデバイス~薬剤溶出性ステント(DES)~の当院での使用経験について
- ・小児化膿性股関節炎について
- ・乳癌扇状切除における一期的乳房再建の検討

今後の予定

- ・2月(2月24日(木))
- ・3月(3月17日(木))
- ・4月(4月21日(木))

宮崎社会保険病院 外来担当医一覧表

| 診療科 | 診療 | 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------------|------------|----|-------------------|-----------------|--------------------|------------------|----------------------------|
| 内科 | 新患 | | 渡邊 玲子 | 窪山 美穂 | 松尾 剛志 | 松尾 剛志 | 平山 直輝 |
| | | | 松尾 剛志 | 深江 裕子 | 高木 信雄 | 平山 直輝 | 窪山 美穂 |
| | 再来 | | 平山 直輝 | 石川 正 | 石川 正 | 石川 正 | 松尾 剛志 |
| | | | 高木 信雄 | 福留 慶一 | 渡邊 玲子 | 渡邊 玲子 | 福留 慶一 |
| | | | 窪山 美穂 | 平山 直輝 | 窪山 美穂 | 深江 裕子 | 深江 裕子 |
| | | | | 今村 卓郎 | 北村 和雄 | | 渡邊 玲子 |
| 特殊再来(午後) | | | | 高木 信雄 | 高木 信雄 | 福留 慶一 | |
| 外科 | | | 白尾 一定 | 貴島 文雄 | 白尾 一定 | 崎田 浩徳 | 白尾 一定 (乳腺・甲状腺) 貴島 文雄 |
| | ストーマ外来(午後) | | 貴島 文雄 (第1,3月曜) | | | | |
| | NST外来(午後) | | | | 白尾 一定 (第3水曜は除く) | | |
| 形成外科 | 第1 診察室 | | 横内 哲博 | 大安 剛裕 | 横内 哲博 | 大安 剛裕 | 横内 哲博 |
| | 第2 診察室 | | 岡 潔 | 岡 潔 | 大安 剛裕 | 岡 潔 | 大安 剛裕 |
| 整形外科 | 第1 診察室 | | 本部 浩一 | 有住 裕一 | 本部 浩一 | 井上 篤 | 本部 浩一 |
| | 第2 診察室 | | 江夏 剛 | 井上 篤 | 船元 太郎 | 江夏 剛 | 有住 裕一 |
| | 初診 | | 有住 裕一 | 本部 浩一 | 江夏 剛 | 船元 太郎 | 井上 篤 |
| 放射線科 | | | 結城 康弘 | 杜若 陽祐 | 杜若 陽祐 | 杜若 陽祐 | 杜若 陽祐 |
| プライマリーケア(午後) | | | 深江 裕子 (福留 慶一) | 福留 慶一 (平山直輝) | 渡邊 玲子 (窪山 美穂) | 窪山 美穂 (福留 慶一) | 松尾 剛志 (深江 裕子) |

(平成17年2月1日付)

*都合により変更になる場合があります。

受付時間 8:30~17:15 (但し、急患・紹介患者はこの限りではありません)

INFORMATION

内視鏡検査について

連携室でも予約を受け付けています。
お気軽にお電話下さい。

訪問看護ステーションを御利用下さい。

宮崎社会保険訪問看護ステーション
(直通) **TEL 0985(63)5130**

お気軽にお電話下さい。

編集後記

お正月気分もすっかり抜け、日々の業務に追われながらも今年最初の「ひまわり」を無事発行することができ、ホッと胸を撫で下ろしているところです。

今回で3号目となる「ひまわり」ですが、先生方からのご意見や要望などを受け付けておりますのでお気付きの点がございましたらご連絡いただくと幸いです。

次回は4月の発行となります。お楽しみに (^o^) /

ご意見・お問い合わせ

宮崎社会保険病院 地域医療連携室

TEL.0120-855-082 FAX.0120-855-083

(地域医療連携室長:白尾一定 専任担当:中野裕子)